

第96回メーデー 岡山・福山で開催

岡山・福山から私たちの声を届けよう 戦後80年「平和と民主主義・憲法を守るたか」に全力を

5月1日、岡山県は岡山市石山公園、福山市は福山城城北公園にて第96回メーデーを開催した。岡山県中央メーデーは40団体・300名、福山地区統一メーデーは、100名が参加し、声を上げた。



小林実行委員（国労岡山委員長）が開会挨拶

岡山県中央メーデー

岡山県中央メーデーは、岡山市北区・石山公園にて開催された。

主催者を代表して山本実行委員長（岡山県労会議議長）は「職場での問題に対して交渉で解決することが必要。粘り強く闘い続けよう」と挨拶した。

その後、団体アピールを行い、知り合う時間として「じゃんけん列車」で2人から始まり、負けたら後ろに繋がって、次々と列をつくり最後は大きな輪になるイベントも行った。

メーデーアピールを全体で採択した後、岡山駅までの1.5キロをパレードし物価高騰を上回る大幅賃上げなどを訴えた。

福山地区 統一メーデー

福山地区統一メーデーは、福山城城北公園にて開催された。

主催者を代表して藤江実行委員長（国労第三支部書記長）は「戦後被爆80年の年にあたり、被団協のノーベル平和賞受賞などの力を背景にして平和な社会を築いていこう」と挨拶した。

参加団体からの訴えでは、ユニオンたんぽぽ・全教職



福山城城北公園にて開催する



員組合福山から闘いの報告がされた。政府に核兵器禁止条約の早期実現を求めるなどのメーデー宣言を採択した後、福山市内をパレードした。